広報やながわ
柳川
Public relations magazine

4／1
2020.No.361

広報やながわ　令和２年４月１日号　No.361

●発行　柳川市／〒832-8601 福岡県柳川市本町87-1
●編集　総務部企画課広報広聴係（直通）☎0944-77-8425　FAX74-5520
●URL https://www.city.yanagawa.lg.jp/　●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

市の未来はどうなるの？
総合計画・後期基本計画を策定

市は、「第２次柳川市総合計画・後期基本計画」を策定しました。計画書や計画を簡単にまとめた概要版は、市内のコミュニティセンターや図書館、小中学校で見ることができます。

CONTENTS

所信表明	02
今年度予算	04
子育てサポートセンターなど	08
高校生広報部	18
ふるさとイベント大賞受賞など	20
子育て掲示板、もちふみデビュー	22
お知らせ掲示板	24
大河ドラマ、新市史抄片	30

柳川探求 No.1

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

【右】金澤翔子美術館第８回書き初め展の高校生部門で全国１位となった作品「慶雲」【上】商業施設のイベントで堂々と揮毫

思いを込めた筆文字で仲間とともに全国優勝を目指す　森 翔子 さん（17歳・坂本町）

全国から1458点の応募があった金澤翔子美術館第８回書き初め展。金澤さんへの思いを込め力強く書き上げた、森翔子さんの作品「慶雲（けいうん）」が高校生部門で１位となり、福島民友新聞社賞に輝きました。

森さんが、書道を始めたのは小学校２年生のころ。友達が通っていた書道教室に興味を持ったのがきっかけでした。今年の４月からは、大牟田北高校の３年生となり、同校書道部のキャプテン（部長）として平日は放課後、土日は朝から晩まで書道の練習に明け暮れています。また、元気で明るい性格の森さんは、キャプテンとして部をまとめる一方で、場を盛り上げるムードメーカーとしても欠かせない存在です。

今年１番の目標は、毎年夏に開催される「全国書道パフォーマンス甲子園」で仲間とともに優勝すること。全国の高校生がさまざまな衣装に身を包み、6分間という限られた時間の中で、演技をしながら大きな紙に揮毫（きごう）します。昨年は、縦書きが常識とされた同大会で、全国初の横書きを大胆に採用。また、演技の振り付けも森さんが担当し、一文字一文字に思いを込めた作品を書き上げ、初出場で４位という快挙を成し遂げました。「今年は、それを上回る新しいアイデアを考え、悲願の初優勝を目指したい」と森さんは意気込みを語ります。

また、その影響もあってか各地の商業施設や美術館などのイベントに出演。迫力のパフォーマンスを書道部の仲間とともに披露し、その活躍の場を広げています。

編集後記。

我が家では、資源ごみの分別を担当する私。空き箱を畳んだり、ペットボトルのラベルはがしなど、ほぼ毎日分別している。たまにキャップ付きビンのキャップがなかなか外れず、悪戦苦闘。外し終わって気が付くといつも手が傷だらけに。外れやすいキャップの普及を切に願う。〈規之〉

柳川観光大使
大淵盛人九段の次の一手

柳川観光大使で、公益財団法人日本棋院常務理事の大淵盛人さんによる新コーナー「大淵盛人九段の次の一手」が来月１日号から始まります。教育やまちづくりのツールとしても注目されている囲碁の魅力を詰碁問題などを通じて伝えてもらいます。